平成 25 年４月３日

がんばろう！東北 国営みちのく杜の湖畔公園 Michinoku Lakewood N.G.P

NEWS RELEASE

東日本復興支援プロジェクト“花譜”

復興への願いを込め、フェニックス はばたく！

～早咲きのスイセンが見ごろになりました～

東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、復興支援活動の一環で、平成２３年 11 月に東日本復興に向けたメッセージとして、２万球のスイセンを植栽し、全長 64m、総延長 500mの「フェニックス（不死鳥）」の花の地上絵を届けよう、というプロジェクト“花譜”を実施しました。今年は３月に暖かな日が続いたことで一気に開花が進み、昨年よりも約２週間早く、**早咲き品種が見頃**となり、スイセンの花で描いた黄色い「フェニックス」が浮かび上がっております。地上絵を描いた花木園には 1.8mの物見台を設置いたしましたので、フェニックスを俯瞰的にご覧いただけます。（なお、**報道関係者の方へは、４月５日（金）10 時～15 時に、地上約 10m上空より撮影できる“高所作業車”をご用意**しております。）

つきましては、皆様にはご多忙のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程、よろしくお願い申し上げます（開花情報・イベント情報は HP でもご案内いたします）。



ニュースリリース配信先：宮城県政記者クラブ・仙台市政記者クラブ・東北電力記者クラブ・仙南記者クラブ
山形県政記者クラブ・山形市政記者クラブ・福島県政記者クラブ・福島市政記者クラブ

お問い合わせ先

国営みちのく杜の湖畔公園　みちのく公園管理センター（担当／内海・藤本・佐藤）
TEL：0224-84-5991　FAX：0224-84-5992
〒989-1505　宮城県柴田郡川崎町大字小野字二本松53-9

ホームページ　http://www.thr.mlit.go.jp/m-park/　“みちのく公園”で検索

スイセンの開花状況

東日本大震災復興のメッセージとして、フェニックス（不死鳥）を模り、平成２３年１１月１８日に植栽した２万球のスイセン（花譜プロジェクト）は２年目の春を迎え、早咲きの品種が見頃となっております。

昨年に比べて３月になってから暖かな日が多く、先月の下旬より“ラインベルトアーリーセンセーション（大輪・黄系）” という早咲き品種のスイセンが開花を始め４月３日現在、見頃となっております。続いてテータテート（小輪・黄系）も開花を始めました。植栽したスイセンは５品種で品種により花期に違いはありますが、現在すべてのラインで“ラインベルトアーリーセンセーション”が見頃となっており、黄色いフェニックスが、はばたいております。スイセンの開花期間は約２週間であるため、見頃の期間は４月中旬まで続く予想です。

また、スイセンが広がる目の前に 1.8mの物見台を設置いたしましたので、フェニックスを俯瞰的にご覧いただけます。

（なお、報道関係者の方へは、<u>４月５日（金）１０時～１５時</u>に、<u>地上約 10m上空より撮影できる高所作業車をご用意</u>しております。）



ラインベルトアーリーセンセーション（見頃）



テータテート（咲き始め）



4月1日撮影



高さ 1.8mの物見台



平成24年4月 20 日の状況

スイセンで復活する地上絵：「花譜プロジェクト」の概要

１９９５年１月１７日に発生した阪神淡路大震災後、天皇皇后両陛下が被災地を訪問された時、皇后陛下は皇居で摘まれたスイセンを手向けられました。今回の東日本大震災の被災地を訪問された時は、被災者が皇后陛下にスイセンをプレゼントするということがありました。

この「希望の象徴」ともいえるスイセンの球根を、東北地方で唯一の国営公園「国営みちのく杜の湖畔公園」の南地区にある花木園において、震災から１年後、スイセンの花となって復活してほしいという願いを込めて、亡くなられた方および行方不明の方２万人のために約２万球のスイセンの球根をフェニックス（不死鳥）の形に植栽しました（平成２３年１１月）。

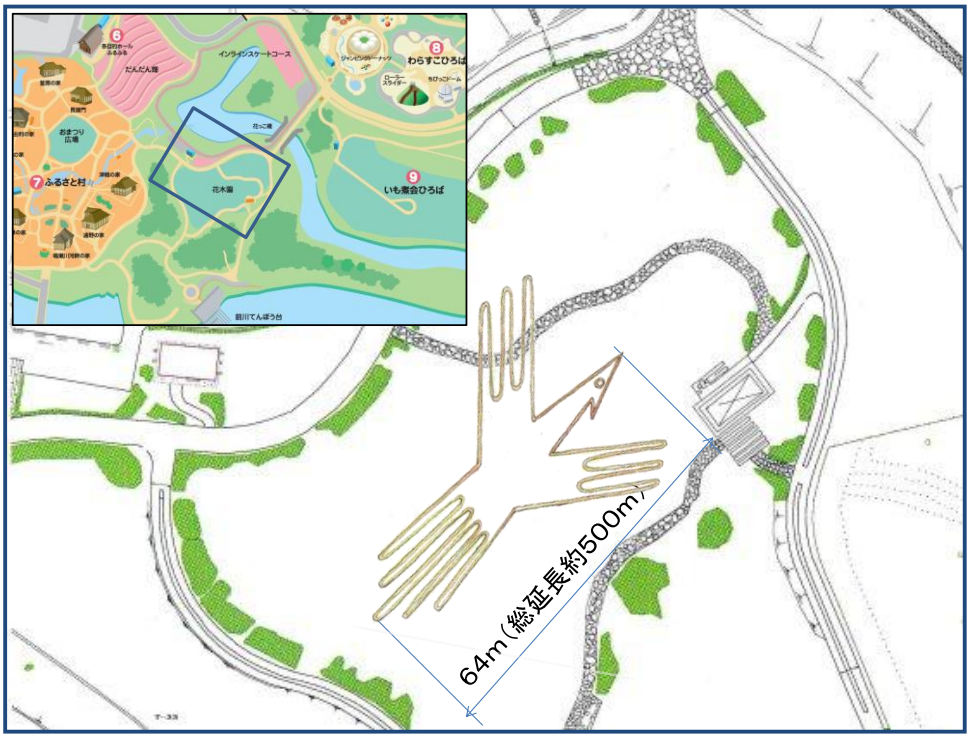
また、その１年後の平成２４年１１月に“被災地に飛び立つ不死鳥”として植栽したスイセンの球根の一部を堀上げ、美しい景観と笑顔を届けようと、津波により甚大な被害を受けた石巻市の県道中央分離帯に、再び植栽しました**（次頁記載）**。

このプロジェクトは、この大震災の記憶と共に、自然と共存することの大切さや厳しさを改めて感じることが大切だと考え、「Ｈａｒｍｏｎｙ　ｗｉｔｈ　Ｎａｔｕｒｅ　ｆｏｒ　ｔｈｅ　Ｆｕｔｕｒｅ」から「ＨａＮａＦｕ：花譜（はなふ）」と命名しました。」



①ラインベルトアーリーセンセーション（黄）：７，５００球
②ヤングスター（黄）：５，５００球
③テータテート（黄）：２，０００球
④アイスフォーリス（白）：２，５００球
⑤セルマラゲロフ（白）：２，５００球

計　２０，０００球



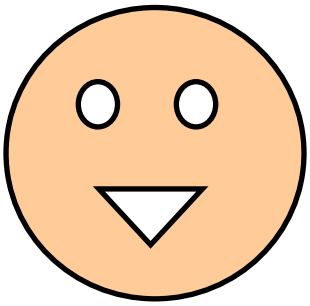
スイセンで描く地上絵配置図（フェニックス）

石巻市内でのスイセン植付状況

平成 24 年 11 月９日に国営みちのく杜の湖畔公園のフェニックス図柄のスイセン花壇より、球根を掘り取り、復興への願いを込めてフェニックスが羽ばたくイメージで、10 日に石巻市内にスイセンを植付けました。

植付けた場所は、石巻市内国道 240 号線の日和大橋東側中央分離帯内で、被災時に缶工場の大きなタンクが流された場所に、様々な緑化活動が継続されています。この場所に復興を祈念して「石巻を花と緑で明るくする運動実行委員会」のご協力を得て、スイセンを植付けました。

下記の写真は、３月２８日現在ですので、現在は満開になっているものと思います。



植付場所図柄



植付前





国営みちのく杜の湖畔公園のフェニックスから推薦を掘取り、石巻市内に植付けました。





平成 25 年 3 月 28 日現在の開花状況（現在、満開）

なお、平成 25 年は支倉常長渡航 400 周年の記念すべき年となります。国営みちのく杜の湖畔公園の所在する宮城県川崎町は、支倉常長の出身地です。川崎町や石巻市と連携した新たな活動を計画する所存です。

みちのく公園基本情報

釜房ダムの湖畔にある国営みちのく杜の湖畔公園は、豊かな水と緑に囲まれた蔵王連峰を望む公園で、仙台市・山形市・福島市より１時間圏内に位置する東北唯一の国営公園として、現在約 321.9ｈａが開園しています（計画面積約 647ｈａ）。

南地区には、季節ごとに数万株の色鮮やかな花々が咲く「彩のひろば」や子どもたちに人気の遊具がそろう「わらすこひろば」、8.5ｈａの広大な芝生広場「湖畔のひろば」などがあります。「湖畔のひろば」では、無料で貸し出しされている遊具で遊んだり、釜房湖を貸ボート（有料・３月～11 月）で周遊することができます。ほかにも、園内には東北６県の代表的な古民家を移築した「ふるさと村」があり、展示物や映像機器をとおして、昔の生活などを学習することもできます（震災の影響で一部閉鎖中）。

また北地区には、広大な風の草原があり、ノルディックウォーキングやグラウンド・ゴルフなど各種スポーツ体験も楽しむことができます。平成２３年７月 16 日より追加開園した自然共生園（16.8ｈａ）では、みちのくの美しい里地里山の環境と景観の再生をテーマに、協働農園の育成や自然再生活動を行い、環境共生や資源循環について学ぶことができます。

○入園料金（団体は小学生以上の入園者 20 人以上）

	一般	団体	年間ﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ券利用
大人（15 歳以上）	400 円	280 円	4,000 円
シルバー（65 歳以上）	200 円	ー	2,000 円
小人（小・中学生）	80 円	50 円	800 円

○駐車料金（１回）

車種	料金
大型（30 人乗以上）	1,000 円
普通	300 円
二輪	100 円

○アクセスと駐車台数等

開園時間：9：30～16：00（11/1～2 月末）

休 園 日：毎週火曜日

※４・５月、イベント期間中は無休です。

駐車台数：約 1,400 台

アクセス：山形自動車道　宮城川崎 IC より約５分